

【PRESS RELEASE】

報道関係者各位

2023年5月29日

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟  
一般社団法人 日本CATV技術協会

第35回 ケーブルテレビ功労者表彰の受賞者決定について

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟(理事長 渡辺克也)および  
一般社団法人 日本CATV技術協会(理事長 内田 茂之)は、ケーブルテレビの普及・発展  
に努め、その功績が顕著な個人又は団体に対し、功労者表彰を行っています。  
今般、「第35回ケーブルテレビ功労者表彰」について、個人3名を表彰することを決定しま  
した。  
受賞者と贈賞式については、下記のとおりです。

記

1. 第35回ケーブルテレビ功労者表彰受賞者(敬称略)

林 正 俊(はやし まさとし) 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 前専務理事
森 田 昌 克(もりた まさかつ) 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 前理事・事務局長 日本デジタル配信株式会社 取締役副社長
中 丸 則 兼(なかまる のりかね) 一般社団法人 日本CATV技術協会 元理事、事業部(規格・標準)部長

2. 「第35回ケーブルテレビ功労者表彰」受賞者の功績概要  
添付資料参照

### 3. 贈賞式

贈賞式は2023年7月20日(木)、21日(金)に開催される「ケーブルコンベンション2023」関連行事として、初日に行われる開会式内にて執り行います。

- 開催日時:2023年7月20日(木) 10時
- 会場:東京国際フォーラムホールB5  
(所在地 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)

#### ※ケーブルテレビ功労者表彰について

ケーブルテレビの日(昭和47年6月16日:有線テレビジョン放送法が国会で可決・成立した日)を記念し、平成元年より一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟と一般社団法人 日本CATV技術協会が共催している賞。表彰は、「ケーブルテレビ事業の普及発展に努めその功績が著しい者」「ケーブルテレビ事業について顕著な業績があると認められた者」の個人または団体に対して行うものとし、表彰選考委員会および各団体の理事会で決定される。

[本件に関するお問合せ先]

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 田野・藤原  
E-mail : [jcta-gyoumu@catv-jcta.jp](mailto:jcta-gyoumu@catv-jcta.jp)  
TEL:03-3566-8200

一般社団法人 日本CATV技術協会 小松田  
E-mail : [komatsuda@catv.or.jp](mailto:komatsuda@catv.or.jp)  
TEL:03-5273-4671

資 料

「第35回ケーブルテレビ功労者表彰」受賞者の功績概要

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟関係

氏名	はやし まさとし 林 正 俊(67歳)	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 前 専務理事																																	
<p>推薦理由： 氏は、2015年6月に日本ケーブルテレビ連盟の常務理事に、翌2016年6月に専務理事に就任。 7年の長きに亘り、要職を務められ、その卓越した知見と経験をベースに業界全体の健全な発展に大きく貢献された。また、内外から連盟に求められる役割の拡大に対応していくため、財務基盤と組織体制の強化に尽力された。</p>																																			
<p>略 歴：</p> <table> <tr> <td>1977年</td> <td>4月</td> <td>住友商事(株) 入社</td> </tr> <tr> <td>2002年</td> <td>4月</td> <td>同社 メディア事業本部 映像メディア事業部長</td> </tr> <tr> <td>2003年</td> <td>3月</td> <td>同社 情報産業総括部長</td> </tr> <tr> <td>2005年</td> <td>4月</td> <td>同社 理事 情報産業総括部長</td> </tr> <tr> <td>2008年</td> <td>4月</td> <td>同社 理事 メディア事業本部長</td> </tr> <tr> <td>2011年</td> <td>4月</td> <td>同社 理事 広報部長</td> </tr> <tr> <td>2012年</td> <td>4月</td> <td>同社 執行役員 広報部長</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>4月</td> <td>同社 顧問 (2019年6月退任)</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>6月</td> <td>(一社)日本ケーブルテレビ連盟 常務理事</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>6月</td> <td>同 専務理事</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>6月</td> <td>同 退任</td> </tr> </table>			1977年	4月	住友商事(株) 入社	2002年	4月	同社 メディア事業本部 映像メディア事業部長	2003年	3月	同社 情報産業総括部長	2005年	4月	同社 理事 情報産業総括部長	2008年	4月	同社 理事 メディア事業本部長	2011年	4月	同社 理事 広報部長	2012年	4月	同社 執行役員 広報部長	2015年	4月	同社 顧問 (2019年6月退任)	2015年	6月	(一社)日本ケーブルテレビ連盟 常務理事	2016年	6月	同 専務理事	2022年	6月	同 退任
1977年	4月	住友商事(株) 入社																																	
2002年	4月	同社 メディア事業本部 映像メディア事業部長																																	
2003年	3月	同社 情報産業総括部長																																	
2005年	4月	同社 理事 情報産業総括部長																																	
2008年	4月	同社 理事 メディア事業本部長																																	
2011年	4月	同社 理事 広報部長																																	
2012年	4月	同社 執行役員 広報部長																																	
2015年	4月	同社 顧問 (2019年6月退任)																																	
2015年	6月	(一社)日本ケーブルテレビ連盟 常務理事																																	
2016年	6月	同 専務理事																																	
2022年	6月	同 退任																																	

資 料

「第35 回ケーブルテレビ功労者表彰」受賞者の功績概要

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟関係

氏 名	もりた まさかつ 森田 昌克(59歳)	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 前 理事・事務局長 日本デジタル配信株式会社 取締役副社長
推薦理由:		
氏は、2016年6月に日本ケーブルテレビ連盟の理事・事務局長に就任。総会や正副理事長会議、支部長会議等の円滑な機関運営に努め、2020年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大期にも連盟業務を滞りなく遂行し、業界の健全な発展に貢献された。また、内外から連盟に求められる役割の拡大に対応していくため、財務基盤と組織体制の強化に尽力された。		
略 歴:		
1986年	4月	住友商事(株) 入社
2006年	10月	(株)ジュピターテレコム コーポレートコミュニケーション本部 本部長補佐
2008年	5月	同社 広告営業本部 副本部長
2010年	11月	同社 りんくう局長
2012年	10月	同社 兵庫ブロック長 兼 関西北ブロック長
2013年	4月	同社 関西統括本部 法人営業統括部長
2013年	9月	アイピー・パワーシステムズ(株) 代表取締役社長
2016年	6月	(一社)日本ケーブルテレビ連盟 理事・事務局長
2022年	6月	同 退任
2022年	6月	日本デジタル配信(株) 取締役副社長 (現任)

## 「第35回ケーブルテレビ功労者表彰」受賞者の功績概要

一般社団法人 日本 CATV 技術協会関係

氏名	なかまる のりかね 中丸 則兼(69歳)	一般社団法人 日本CATV技術協会 元理事、事業部(規格・標準) 部長
推薦理由： 氏は、パイオニア株式会社在籍時には総務省「放送サービスの高度化に関する検討会 ケーブル・プラットフォーム WG」の構成員として、ケーブルテレビ事業の更なる発展のために共通化が可能な業務を集約する「プラットフォーム」構築の検討を行った。 2006年6月から2014年3月までの長きにわたり、協会理事を務め、この間、資格技術向上委員会や技術者養成委員会、技術調査研究委員会の委員として、資格制度をデジタル時代に対応した技術者資格制度に発展させ、CATV 技術者育成などに尽力された。協会規格標準化委員会には1996年の発足時から委員として参画、2014年からは協会事業部(規格・標準) 部長として、委員会幹事会および伝送ネットワーク WG、妨害評価試験確認会議など10の委員会・WGの組織をとりまとめ、有線テレビジョン放送システム等に係る標準規格の策定や、情報通信審議会およびITUとの調整、協力などを行われた。また、地上デジタル放送方式高度化に関して、3階層セグメント分割方式(SISO)、階層分割多重(LDM)方式、地上放送高度化方式(SISO)をCATV 網等で伝送する際の課題検討、実証実験を行うなど、新たな放送サービスの導入に向けた技術検証に中心的な役割を果たされた。様々な活動を通して、ケーブルテレビ業界の発展に多大に貢献された。		
略歴： 1977年 4月 鶴舞電機(株) 入社 1981年 1月 同社 退職 1981年 2月 パイオニア(株) 入社 1996年 4月 同社 C&S部 部長 2009年 4月 同社 ケーブルネットワーク事業部長 2013年 11月 同社 退職		
【主な業界活動】 1999年 6月 (一社)日本CATV技術協会 規格・標準化委員会委員 2006年 6月 同 理事 2014年 3月 同 理事退任 2014年 4月 同 事業部(規格・標準) 部長 (現任)		